

(別添2-10)

## 通信学習実施計画書

### 1 講義を通信の方法によって行う地域

大阪府全域、神戸市地域とする。ただし、大阪事務所に通学可能な圏内を想定

### 2 添削指導の方法

各項目ごと平均的に「記述式」「正誤方式」「選択方式」などで、学習向上を求める目的とし、質問などは下記の方法を採る。

#### ・自宅学習期間の質問方法

質問はFAXのみ対応。また、スクーリングの際に担当以外の講師でも対応できる体制。(カリキュラム内に記載されている講師対象)

添削担当講師：川邊 久美子

ファックス番号 06-6981-1002

### 3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	6時間	12時間

### 4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は、1回配布し、提出も2回とする。

配布は、開講日で(2)～(9)配布します。

第1回目の提出は、配布より10日～12日の間とし、第2回目の提出日は、修了評価の前日とする。

### 5 通信学習課題

① 課題種類数 各項目3種類 計 83問

② 出題形式 第1回 各項目 択一形式が主で記述式2問 全75問

第2回 各項目 択一形式が主で記述式2問 全7問  
及び講義全般を通しての論文課題1問 全1問

出題数	「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」	10問
	「(3) 介護の基本」	12問
	「(4) 介護福祉サービスの理解と医療との連携」	10問
	「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」	10問
	「(6) 老化の理解」	10問
	「(7) 認知症の理解」	10問
	「(8) 障がいの理解」	13問
	「(9) 心とからだのしくみと生活支援技術」	7問
	「講義全般を通しての論文(課題はランダム)」	1問

## 6 評価基準

教科書に沿った形での出題をし、課題全て提出はもちろんのこと点数とスクーリングで行う試験などで概ね総合評価100点満点中80点以上を「合格」とする。  
基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、別途添削課題を配布する。  
なお、再提出日は、発送日から起算して2週間後の弊社到着とする。 等々

## 7 通信添削業務受託事業者

(1)  自社で実施する。

(2) 委託先研修機関

法人名称		
所在地		
連絡先		
ホームページ		
指定番号		
研修実績	研修実施期間	
	コース名	
	修了者数	名
委託契約期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで	

※委託期間は1事業年度内(4月1日から翌年3月31日までの間)とすること。